

平成 29 年 4 月 11 日

再生可能エネルギー・水素等関係閣僚会議



平成 29 年 4 月 11 日、安倍総理は、総理大臣官邸で第 1 回再生可能エネルギー・水素等関係閣僚会議に出席しました。

会議では、再生可能エネルギーの導入加速及び水素社会の実現に向けた取組について議論が行われました。

総理は、本日の議論を踏まえ、次のように述べました。

「日本は、世界に先駆けて水素社会を実現させていきます。関係大臣は、政府一体となって取り組むための基本戦略を年内に策定してください。

特に、2020年に4万台規模で燃料電池自動車を普及させるため、水素ステーションの整備を加速させる仕組みを作るとともに、水素ステーションに関する規制を合理化するため、海外の規制や国内のガソリンスタンドとの比較も念頭に置いて、総点検をしてください。

生産から輸送、消費に至る国際的な水素サプライチェーンの構築を牽引するのは、大量かつ安定的な水素需要を生む水素発電です。サプライチェーンの構築と水素発電の本格導入に向けて、多様な関係者の連携の基礎となる共通シナリオを策定してください。

再生可能エネルギーについては、その導入を一層強力に推進していきます。関係大臣は連携して、本日決定したアクション・プランを着実に実行してください。」